



第109回

私のスケッチブック



「パリの空を覆った悲しみの黒煙」

ノートルダム大聖堂／パリ（フランス）

今年4月15日の夕刻に発生したノートルダム大聖堂の火災は、改修工事中の失火で尖塔と屋根が崩落し、大聖堂を取り囲む通りは多くの市民達の聖歌と祈りに包まれました。

この大聖堂はパリの歴史の象徴であり、パリの町と市民が850年間に亘って見守り続けたのですから、市民にとっては悲劇でした。以前より大聖堂は老朽化が進み、壁や天井に亀裂が入り、改修の為の寄附が募られていました。マクロン大統領は、一日も早い再建を国民に約束。2024年のパリ・オリンピックに間に合う事を祈ります。

1163年着工して1345年に竣工と云われていますから、建築するのに182年を要した事になります。ノートルダムとは「我らの貴婦人」と云う意味合いですから聖母マリアの別称と申せます。セーヌ川のシテ島に位置し、当然ながら世界遺産に登録されています。

この作品は、珍しくセーヌ川左岸のルネ・ヴィヴィアンニ

公園から描いています。1804年12月2日に帝政を宣言したナポレオン・ボナパルトがこの大教会で戴冠式を挙行。その様子はダヴィットの手によって描かれ、ルーヴル美術館とヴェルサイユ宮殿に展示されており皇妃ジョセフィーヌの戴冠の場面は圧巻です。

ヴィクトル・ユーゴーの名作で映画の邦題「ノートルダムのせむし男」を名優アンソニー・クインが演じて子供心に怖かった思い出の場所で、舞台となった南塔の鐘は何と13トンもあるそうです。正面ファザードのステンドグラスは「バラ窓」と呼ばれ、その美しさは別格。南側はキリスト、北側は聖母マリアをテーマにしていると云われていますからジックリ味わいたい見どころです。

フランスに同じ名前の大教会が幾つかあり、アミアン・ルーアン・ストラスブール・ランス・シャルトル等々機会があれば是非訪ねてください。

延原 慎吾



1946年、岡山県生まれ。現在、東京都内在住。物流会社を経営するかたわら欧州物流コンサルタントとして渡欧の際、歴史的建造物及び風景の美しさに魅せられて水彩画を始める。
「第70回 全国カレンダー展」に11度目の入選を果たし、その実力を発揮する。
<http://www.urban.ne.jp/home/nobu36>

水彩画 延原

検索